

# 串間市議会

3月議会 6月議会 9月議会 12月議会  
2013年10月

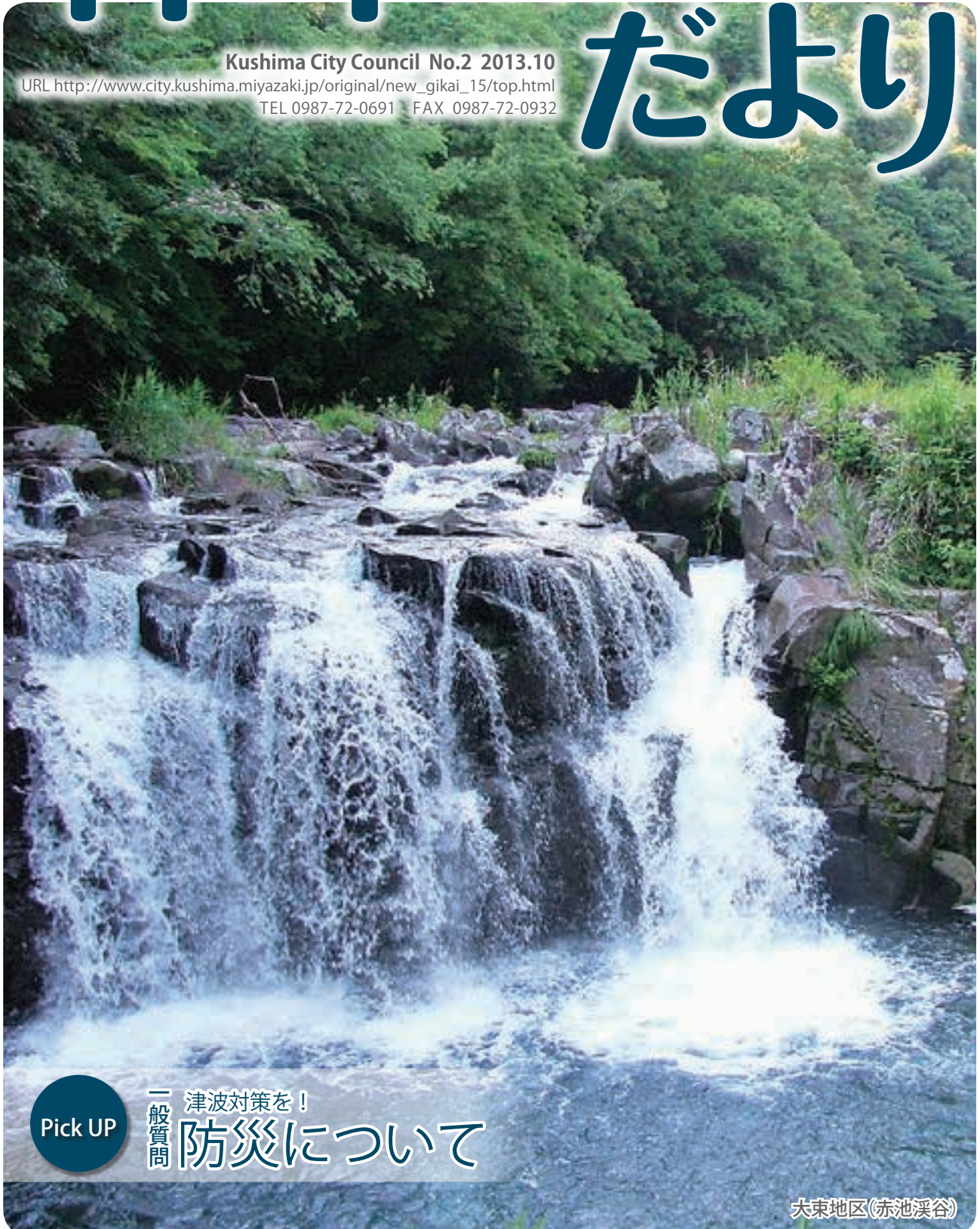
No.2

# だより

Kushima City Council No.2 2013.10

URL [http://www.city.kushima.miyazaki.jp/original/new\\_gikai\\_15/top.html](http://www.city.kushima.miyazaki.jp/original/new_gikai_15/top.html)

TEL 0987-72-0691 FAX 0987-72-0932



Pick UP

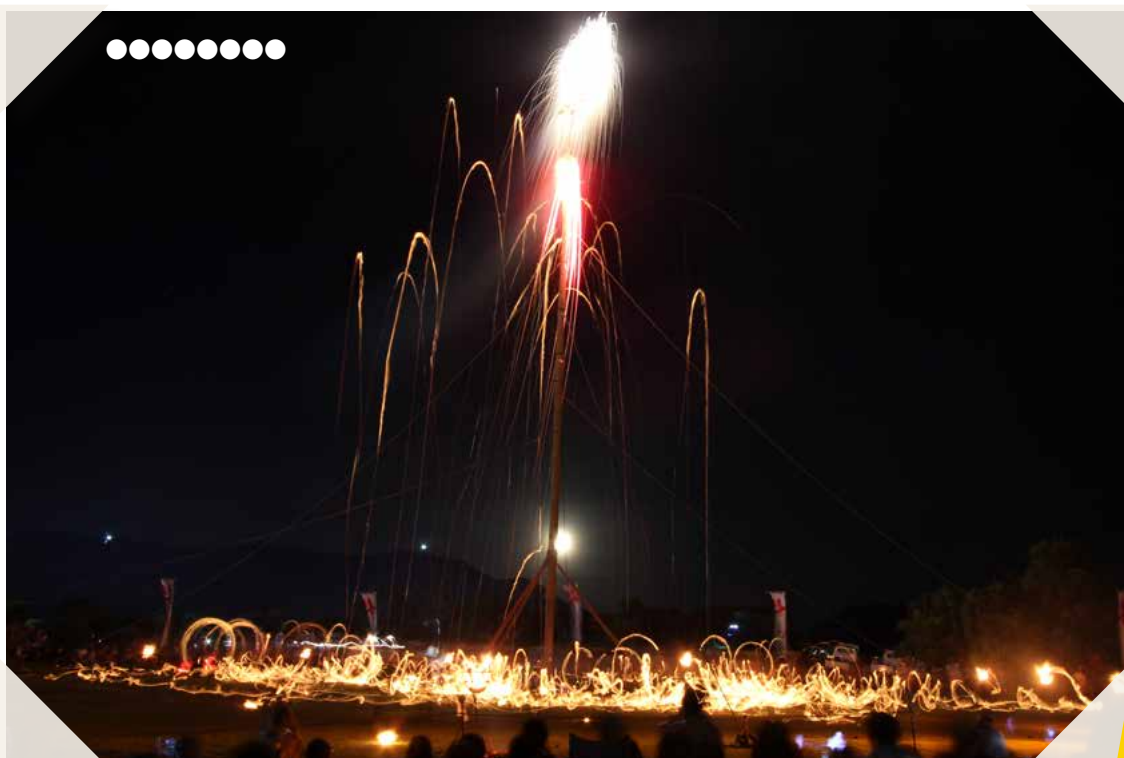
一般質問 津波対策を！  
防災について

大東地区(赤池溪谷)

9月定例会

平成25年度 一般会計補正予算(第4号)

1億3,029万4千円を増額



- 一般会計予算総額は107億6,746万6千円に
- 教育委員会委員 渡邊英人氏の選任に同意
- 人権擁護委員 江崎利郎氏、富山真理子氏の推薦の同意

平成25年9月定例会が9月2日から24日までの会期で開催されました。

今定例会では、専決処分健全化判断比率、資金不足比率の報告に関する3議案、平成24年度の決算認定13議案、一般会計他特別会計の補正予算6議案、条例の一部を改正する条例2議案、水道事業の資本金の額の減少について1議案、人事に関する3議案が上程され、平成24年度の決算認定13議案については、特別委員会を設置し継続審査とし、その他については、すべて原案の通り可決されました。

なお、今回は13名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

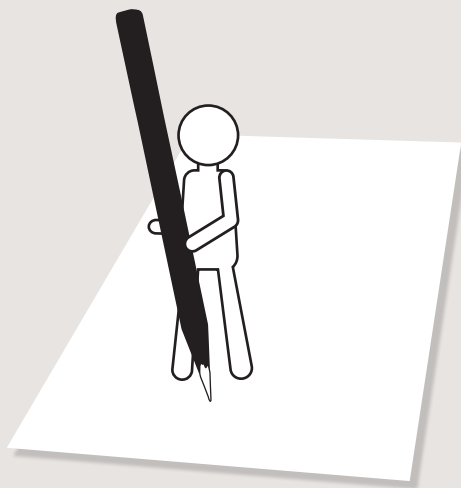
その他、陳情2件うち1件を継続審査、1件を採択とし、議員発議による意見書1件を可決しました。

# 常任委員会

# 活動レポート

Activity report

常任委員会は、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることについて調査研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。



## 総務常任委員会

委員長  
中村 利春

当総務常任委員会に付託を受けました議案1件、陳情1件について審査いたしました結果を御報告いたします。まず議案第63号平成25年度申間一般会計補正予算についてであります。最初に津波避難路の整備を支援する防災対策事業、次に消防団員の退職に伴う退職報償金及び記念品、防火水槽撤去工事の経費等を予算措置した内容について、次のような意見がありました。最初に総務費第1項総務管理費中、資格取得人事交流等普通旅費が計上されているが、これらについては年次の計画に基づき当初予算に措置し執行すべきとの意見や、同じく第22目危機管理費、津波避難路整備の防災対策費補助金につ

いては、巨大地震を見据えた人命を守る観点から啓発、広報を行い事業推進に努めるべきであるとの意見がありました。次に消防費第2目非常備消防費については、消防団員の退職報償金及び記念品との事である。例年30名ほどの退職者があるとの事。今後消防団員の定員の確保に努めるべきとの意見がありました。次に陳情第8号「申間市防災無線の屋外拡声子局設置等に関する陳情書」については採決の結果陳情者の願意を了として採択する事に決しましたが、次のような意見がありました。現在、市内全域を対象とした屋外子局設置の事業手続きの準備を行っているとの事であるが、事業採択後は早急に取り組むべきであるとの意見がありました。

## 文教厚生常任委員会

委員長  
瀬尾 俊郎

会計補正予算案分割付託関係部分を全会一致で可決！

保育士等処遇改善費予算計上

県の6月予算措置による9月補正での対応。処遇改善に100%の利用、来年度以降も予算要求を望むとの強い意見がありました。

エコクリーンセンター維持補修費900万円

施設の維持管理費については、補正での対応ではなく、当初から計画的な予算措置を行い、保守管理に努めるべきだとの意見がありました。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の予算補正及び条例の一部改正

24年度決算に伴う補正。延滞

金及び還付金の利率の引き下げ。

国民健康保険・後期高齢者医療及び介護保険等、今後の国の社会保障と税の一体改革に伴う動きに対応できる様、十分な準備と調査をしておくべきとの意見や国民健康保険・介護保険の多額な繰越・余剰金については、適正な推計、ち密な計画で、市民の重税感を払拭できる様な予算措置を行うべきとの意見がありました。また、国民健康保険における応能応益制度等、税の構成等の見直しの時期にきているのではないかと徴収率を高め、全体の税額を下げられる様努力していくべきとの強い意見がありました。

### 中学校統廃合反対の陳情を再度継続審査へ

種々議論を経ても結論を得るにいたらず、継続審査の申し出があり、さらなる他視点からの情報収集に努め、何を重要とするのか、慎重に審議していき結論を出す意向である。

産業建設  
常任委員会

委員長  
武田 秀一

### 付託議案4件

#### ◎議案第63号 平成25年度串間市一般会計補正予算

##### ○農林水産業費

備品購入費として13万5千円の予算について、串間温泉いこいの里の調理機購入の必要性について、委員より質疑があり審議いたしました。

##### ○土木費

北方地区多目的公園整備工事費1150万円の予算について、平成25年度・26年度の2カ年かけて整備する計画だが、委員より防犯や照明についても配慮すべきとの意見がありました。以上審議の結果賛成多数により可決。

#### ◎議案第66号平成25年度串間市水道事業会計補正予算

資本的収入及び支出において297万6千円の予算について、県道都城串間線の推進工設計業務を市が行う予定でJRへ委託費として計上したもので、委員より予算計上のあり方について、当初予算を組む段階で調査計上すべきとの意見がありました。以上全会一致により可決。

#### ◎議案第70号串間市串間温泉いこいの里条例の一部を改正する条例

市民へのサービスを第一に考えるべきとの意見がありました。以上審議の結果賛成多数により可決。

#### ◎議案第71号平成24年度串間市水道事業の資本金の額の減少について

別段異議なく全会一致により可決。

## 8月臨時会の 報告

議案

◆議案第62号 平成25年度串間市一般会計補正予算(第3号)

平成25年8月16日(金)の1日間、第4回臨時会が開かれました。この臨時会では、旧串間市勤労青少年ホーム及び旧串間市老人福祉センターが老朽化したため解体の必要があり、解体経費として「2,450万円」が提案され、審議されました。

採決の結果、全会一致により原案どおり可決されました。

# Q & A

## 一般質問



市議会議員が市に対して皆さんの生活にかかわる内容を質問します。

理事者（市長や行政委員会）に市政の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項について質問をすることで、今申間市ではどんなことが行われているか知ることができます。

財政

### 景気対策について



ただ 武田 まさひで 議員

○景気対策について

**Q** 25年度に繰越した24年度の国の緊急経済対策予算の執行について、速やかな対応が望まれる。どうなっているか。

**A** 3月議会でおよそ7億円の追加補正をお願いした。緊急経済対策として経済効果や雇用につながる事業であり速やかな執行を担当課に指示している。

○学校再編のアンケート結果と検証について

**Q** 7月に実施した学校再編のアンケート調査の実施方法や調査結果について。

**A** 小中学校保護者と未就学児の保護者、6地区住民を対象に実施。回答者1186名、回答率56%。アンケートは選択式で地域と市内全域の学校規模や学級数、記述式で再編に対する懸念や期待、通学バス等について尋ねた。調査結果は市のHPに掲載する。今後、再編基本計画、

実施計画を策定し、議会や各地区での説明会、パブリックコメント等実施する。

○虐待防止について

**Q** 児童、障害者、高齢者の虐待防止は市民の協力が必要、どう取り組んでいるのか。

**A** 広報誌やホームページ等を通じて早期発見に努めている。また地域包括支援センターを中心に社会福祉士や関係施設、民生委員など連携をとり見守りのネットワークの強化に努めている。

○年末年始景品付き大売出しについて

**Q** 申間商工会議所が中心になって実施した「年末年始景品付き大売出し」は好評で経済効果も大きかったことから本年も支援するとしていたが。

**A** （商工観光スポーツランド推進課長答弁）今議会に500万円を計上。可決後、実行委員会を立ち上げ内容を検討する。

市政

# 市長の政治姿勢について



なかむら としはる 中村 利春 議員

今議会には13名の登壇者があ  
りました。最初に市長の政治姿勢に  
ついて、6億6千万円余りの大型  
補正予算（H24年度）の執行状況  
と、それに伴う経済効果、また来  
年の市政施行60周年記念事業の  
庁内体制と市民への呼びかけ、防  
災対策の避難路の整備状況、エネ  
ルギービジョン以上4件について  
質問しましたが、いずれもこれか  
らの取り組みが多くスピード感  
に欠け串間市の深刻な状況克服  
に至っていない事が判明、次に今  
年大量退職に伴う市職員採用計  
画の内容、企業立地意向調査の  
進捗状況と今後の展開、「市民発  
にぎわい創出事業」の応募状況、  
障害者の職業訓練と就業の実態  
と対策、各地区で実施された自治  
会の内容、定住化の取り組等多  
岐にわたり質問しましたが、串間

市が最も優先的に取り組むべき、  
優秀な人材の確保や企業誘致の  
推進、弱者の福祉の充実等質問  
を通してなお一層の取り組みが求  
められる事が明らかになりました。  
次に農政について県の今年度、  
今後10ヶ年の農政の新規重点的  
項目と市当局がこれらを見据え  
た施策をどこまで展開しているか  
やTPPの影響と対策、耕作放棄  
地における土地持ち非農家対策、  
県の開発した新品種の導入状況、  
県が実施したアンケートの本市  
の参加農家とその結果、そして最  
後に本年産早期水稻の実績につ  
いて質問しましたが、県の進めて  
いる農政特に農畜産品の輸出等  
は大きな期待が持たれましたが、  
農商工連携や農業の6次産業化  
の本市の取り組みは県と一体とな  
る事が必要不可欠である事が明  
らかになりました。

食育

# 人口減少対策について



たけだ しゅういち 武田 秀一 議員

○国内の人口減少と少子高齢化  
社会の対応策について

Q

「老年人口」は3千万人超、生  
産年齢人口8千万人以下となり少  
子高齢化現象は深刻な社会問題と  
なっており、その策の一部として  
（一）婚活への取組み（二）女性の  
集える場所の提供について（三）限  
界集落と高齢者の買い物、生活支  
援について（四）高齢者の負担軽減  
生きがいづくり、医療対策につい  
て。

A

子どもを産み育てたい、働きた  
い、住みたい、等の支援制度や定  
住促進を図る。民間団体等が婚活  
イベントを企画。実施については、  
制度事業の案内や支援を行なう。

Q

○当市における経済発展への方  
向性について

Q

行政 TPPの現況と当市農業振  
興計画及び今後の方向性と人・農  
地プランと水田農業確立事業の効  
果と今後の発展性について述べる。

A

国は「日本型直接支払制度」を  
視野に入れた調査費が計上されて  
いる。情報収集に努め制度事業を

活用した農業振興に取り組む。漁  
協直売所建設、市として協力する。

Q

○教育行政について  
（一）全国学力・学習状況調査の  
結果が公表されたがどのような考  
えるか（二）いじめの問題につい  
て（三）スポーツ振興策について

A

基礎学力だけでなく活用するた  
めの取組の充実を図る。出場団体  
（個人）や保護者など、経済的な  
負担軽減をはかり、支援を続ける。  
いじめのない学校づくりを進める。

Q

職員のモチベーション向上と資  
質向上策について○若手職員から  
の提言等は積極的になされている  
のか○人事考査（人事評価）の実施  
状況について○職員のコンプラ  
イアンス（法令遵守）の徹底につい  
て

A

コンプライアンスセミナーなど  
職員研修を計画的に受講、職員の  
やる気や働きがいを引き出す。組  
織目標・職務目標の設定を行い、  
昇任昇格配置等、人事に必要な資  
料として活用している。

Q

水道事業インフラ整備について

A

年間8千万円程度の事業規模で  
老朽管更新を行う。

防災

# 防災対策について



せ お としろう  
瀬尾 俊郎 議員

○防災対策

**Q** 防災において大切な事は、一人の災害に向けた心構え、防災訓練・講話会等が必要なのは言うまでもないが、物事には想定外の出来事が付きもの、6月議会でも発言した通り、リーダーの資質とそれを発揮できるシステムの構築が重要、どの様な指揮を取り、現場裁量権を發揮されるのか、危機管理の構築について質問。

**A** 多方面で組織編成に務め危機管理に臨む。

○市民病院について

**Q** 病を患うと人は不安になり、心配感が回りを巻き込む事態もめずらしくありません。ましてや医師や看護師のように、知識や経験がそこある訳でもなくあわてたり、判断がおかしくなることは多々あることでしょうか。理不尽な要求も出てくるかもしれない

せん。しかし、だからと言って対応が雑になってしまっただけではない。いき違い等もあるのでしようが、挨拶、笑顔、気遣いに関するマニュアル等で接遇に対する苦情を払拭して欲しい。

**A** 他病院との連携で研修を実施結果が出せる様、管理職も含め今後も研修等を計画。

○学力向上対策

**Q** 昨今の教育事情は、串間市のような地方に取っては、不利な条件が多いが、有能な人材を埋もれさせないためにも市からの教育補助・教育委員会の積極的な活動を望む。

○木材利用等補助

**Q** 木材需要拡大・市内事業者支援・定住促進等、市内経済の活性化のための補助事業をお願いしていたが、進捗状況は。

**A** 前向きに検討していく。

子育て

# 子育て支援について



かわさき ちほ  
川崎 千穂 議員

○赤ちゃんの駅とは乳幼児を

**Q** 連れた方が外出中に立ち寄りオムツ替えや授乳に不安なく外出したいとの要望に沿った子育て支援事業です。市役所や図書館、文化会館等の公共施設に設置する考えはないか。

**A** 図書館、文化会館、市役所内にスペースを整備し、登録手続きを進めていく。

**Q** 子供医療費の助成の拡充を求める。

**A** 小学校入学から中学校卒業まで串間市単独助成を実施している。

**Q** チャイルドシートの補助はできないか。

**A** 現在補助は実施していないが、市民秋祭りで育児用品バザーを行いチャイルドシートについては好評を得ている。

**Q** インフルエンザ予防接種の助成を受験をひかえた中三も対象にする事はできないか。

○前向きに検討する。

**Q** 市民病院職員の処遇について、白衣の洗たくは家庭に持ち帰っているが病原菌を持ち帰る事にならないか、職員や臨時を含む病棟夜勤態勢の増員、時間外手当の公平な支給について。

**A** 今後検討していく。

○商工観光について

**Q** 都井岬灯台、神社入口のトイレが、臭くて身障者用のドアは固く開けにくい。観光地としてイメージダウン、水の問題と合わせて、早急な改善を求める。

**A** 早急に取り組んで参りたい。

○ガン対策

**Q** 串間市は胃ガンによる高い死亡率であるリスクを減らし予防できるピロリ菌検査の導入をお願いしたい。

**A** 検討していく。

財政

## 市税、国民健康保険 収納率について



いまえ たけし  
今江 猛 議員

○24年度市税、国民健康保険  
収納率の状況について

24年度の収入未済額（未収金）は、市税で1億7613万112円、国民健康保険税が1億5102万2964円となっているが市税、国民健康保険税の収納状況はどうなっているのか。

**A** 市税については、第1四半期で26・93%、第2四半期で47・57%、第3四半期で75・27%、第4四半期は出納閉鎖後89・39%の収納率となっています。国民健康保険税につきましては、第1四半期で8・97%、第2四半期で30・55%、第3四半期で61・53%、第4四半期で78・95%となっています。

○生活保護費について  
8月1日から生活保護費の基準額が国の予算で1・5%引き下げられたが、本市における対象者数、引き下げは何パーセントだったのか、減額ほどの程度だったのか。

**A** 減額された対象世帯は、122世帯で全体の85・9%になります。122世帯の引き下げ総額は、6万6080円、率にして1・17%の減となります。最も減額された世帯（世帯人員の多い1世帯）で月6140円の減額、率にして3・3%の減少、最小で60代単身世帯2世帯で月30円、率にして0・03%の減少となっています。

教育

## 学校再編について



やまぐち なおつぐ  
山口 直嗣 議員

○学校再編については熟慮には熟慮を重ね公開すべきことは公開し説明することは一言一句もろさず説明していただきたい。不完全燃焼では将来に禍根を残します。完全燃焼でないことについては行きません。教育委員会へたずねた。

**A** 今回のアンケート調査の実施により様々な意見や要望が出た。意見、要望等は重要な意見として再編に活し協議をしているところであり、今後は公開すべき情報は保護者や市民の皆様へ公開し説明し意見を賜りながら中学校再編を着実に進めてまいります。

**Q** 申間市における高齢者を狙う送りつけ商法やおれおれ詐欺など悪質な消費者トラブルの発生状況及び現状と対策についてたずねた。

**A** 消費者トラブル等に関する相

○学校再編については熟慮には熟慮を重ね公開すべきことは公開し説明することは一言一句もろさず説明していただきたい。不完全燃焼では将来に禍根を残します。完全燃焼でないことについては行きません。教育委員会へたずねた。

談は現在1件受理し市役所は手続きを代行し解決しました。申間警察署では訪問販売が3件、送りつけ商法が18件だが被害に遭われた市民はいなかったとのことであり、高齢者にとって安全で安心な地域社会づくりをし速やかな情報共有を図り被害防止に努めていることでもあります。

**Q** 市木の諸問題について質問をして参りました。

1. 市木地区農地保全事業の進捗状況と苦情等について
2. 石波吹切川の治山事業計画の進捗状況について
3. 石波フィールドミュージアム展望台施設の保守管理について
4. 市道中福良門前線道路改良計画について
5. 藤地区国道448号線より海岸旧家村に及ぶ雨水排水計画について



財政

# 消費税増税について



こだま ますたけ 議員  
児玉 征威

○消費税増税を中止させよ  
う「市長も4月実施に反対」

安倍首相は、消費税増税を予定通り実施するかを10月に判断する。実施されれば13・5兆円の負担増に。社会保障改革が実施されると串間市での影響は①70〜74歳の医療費負担1割が2割増で1700万円②介護支援1・2の保険給付廃止で1億7千万円③生活保護費平均6・5%の削減④年金3年間で2億5千万円の削減⑤高校授業料無償化への所得制限1260万円の負担増⑥TPP参加で串間の農家への影響額21億円など市民の暮らしは大変です。どの世論調査でも消費税増税の中止を求める声が7〜8割。政府内からも反対の声がでています。15年間で労働者の賃金は70万円も下落。個人消費は低迷、大増税を実施したら、国民の暮らしも経済も破壊されます。「増税中止」が国民多

数の声です。「力をあわせ中止を」と提案をしました。

○福島原発「非常事態」、川内原発再稼働反対」を

福島原発は制御不能、非常事態です。川内原発の再稼働申請がされていますが30km圏の自治体の避難計画はゼロです。西風が吹けば串間市も大きな影響を受けます。再稼働反対を申し入れるべきです。

○原発は段階的に縮小することとが大切」と反対の答弁はしませんでした。

○猛暑！教室にクーラー設置を、こどもの医療費は無料に

熱中症対策にクーラーは必需品、教室への設置とこどもの医療費の一部負担をなくし無料化を求めましたが「明快な答弁」はありませんでした。

市営住宅の「修繕費を増額する」と答弁しました。

防災

# 防災について



じつとう けんじ 議員  
実藤 賢次

「防災行政無線」市内全域及び津波浸水想定区域での屋外

拡声子局は何基が必要で計画はどうか。また、設置済地区での難聴解消取組みについて。

全域をカバーするには80基。津波想定区域の自治会をカバーするには、福島地区が8基必要、本城地区5基・市木地区で3基の計16基が増設が必要で想定地域を最優先に計画。事業費として都市防災総合推進事業の活用に取り組み中である。子局設置地区の難聴解消については調査を実施し改善に取り組む。

「特定検診」受診者が増加することで生活習慣病の予防改善が図れることで毎年増加する医療費抑制（国保値上げ抑制）にも繋がるため今後どのように受診率を向上していくのか。

H24年度までに16項目にわたる実施。今年度は新たに緊急雇

用創出事業を活用し国保全世帯約3600世帯を対象に「訪問による受診勧奨」を実施している。

「有害鳥獣被害対策」本県へ対策費として2億8百万円が交付されているが、当市への配分額はいくらなのか。また、行政として協議会等に対し提案等を積極的に実行予算獲得に取組むべきだが。

37万5千円で県全体の1・8%である。

「地域医療」JAはまゆう本城支所前に診療所開設の動きがあるが、行政の情報が多量に不足なく、怠慢によるものか。情報収集能力不足なのか。民間のため重要視していないのか。個人情報関連なのか。当局の姿勢を強く問い、行政としてどこまで把握しているのか。

開設の話は聞いているが診療科目・規模等承知していない。

事業

## 農業担い手対策について



ふくぞえ ただよし 福添 忠義 議員

事業

## 情報発信について



いであきと 井手 明人 議員

**Q** 農業担い手対策は制度を含め、市独自の取り組みがないと、進まない。人、物、金を集中すべき。

**A** 担い手確保は基本である取り組みを強化する。

**Q** 人口減が止まらない。企業誘致の取り組みが弱い。強化して、若者の流失を防ぐべきだ。

**A** 担当者が兼務でいるが専門員を検討する。

**Q** バイオマス発電の計画がある。男子型で六十名の雇用が見込まれる。支援を強化すべきだ。

**QA** 立地の実現に向けて支援する。口蹄疫の後遺症が畜産農業経営に大きく影を落としている。今後、対策が必要であるが。

**QA** 影響は続いている。対策を検討する。福島港は流砂で干潮時には漁船の通行に支障がある。浚渫が必要だがその対策は。

**A** 浚渫が必要であるので県と協議する。

**Q** 木材安で、伐採後の更新に苦慮されている国土保全上からも問題がある、対策が急がれるが。

**A** 更新率が低下している。対策を検討する。

**Q** 子育て支援の為に、延長保育を支援すべきだ。

**A** 新年度からの実施に向けて内部で検討する。

**Q** 過疎が進みスーパー等が撤退し、高齢者の生活に支障がある。対策が急がれるが考えはないのか。

**A** 走るスーパー等と連携を含めて対策を考える。

**QA** 防災上高台の道路沿いの農振地を解除すべきだ。

**QA** 要望に応じ見直しをする。全国学力テストで串間市は全国平均以下である。土曜日開校を含めて独自の対策が必要でないか。

**A** 学力向上に努める。土曜開校は動きを見る。

**Q** 市長及び市の情報発信。他市に比較して市長自身の情報発信が少なすぎる。HP「よこそ市長室へ」やFBを使って積極的に情報発信をしていくべきではないか。

**A** その方面に詳しくないが今後検討する。

**Q** 県内の4市で条例に「ガスや電気の製造」を明記しているが、再生可能エネルギー導入を推進している串間市でもそうすべきではないか。

**A** もう少し精査して庁内の会議にかける。

**Q** ワクワクスタンプ会

**Q** 買い物客市内引き留め、大型店対策、公共的な事業で串間市に貢献しているワクワクスタンプ会が苦戦している。市からの援助・協力などもっと目を向けるべきではないか。

**A** 商工会議所との協議を含め考えていく。

**Q** 観光振興  
串間PR大使制度の導入は検討したか。

**A** 仕組み、方法等課内で検討中であり、実現を目指している。

**Q** 防災行政無線  
作成中の防災マップ上でも津波浸水想定エリアは広がっていると思うが6月議会以降計画の見直しはできたのか。

**A** 浸水想定エリアの広がりにより市内で16基の設置が必要となった。国土交通省の制度事業を活用し来年度から2年間の計画を進めたい。

**Q** 自立推進行政プラン

**Q** 職員研修―人材育成基本方針改訂版で一番重要な「求められる職員像」が平成17年に作られたものとまるで同じ内容だが第5次長期総合計画に合致しているのか。

**QA** 引き継ぐものは引き継いでいく。人事制度の確立―人事評価制度の処遇への反映は全く進んでいないが。

**A** 今後、処遇反映を進めていく方向である。

財政

# 財政運営について



かどた くにみつ 議員  
門田 国光

**Q** 健全な財政運営こそ自治体の求めるものであります。財政基盤が脆弱で、依存財源に頼らざるを得ない状況が続く中で、中期財政収支見通しによると、平成二十九年度には、約十七億円の財源不足が見込まれるようです。人件費等の義務的経費の増、社会保障関連の増加傾向の中で、自立存続のための財政運営をどう考えているのか。

**A** 年々増加する社会保障費や、多くの財政需要、さらには国の財政状況などを勘案しますと、より一層厳しさを増すと危惧しているところであります。先ず財政の健全化を堅持しながら財政運営に取り組んでいるところです。市債の発行額を元金償還額以下に

抑制し、市歳入の根幹をなす市税等の徴収体制の強化を図る。今後も自立推進行政改革プランに基づき、全ての事務事業の見直しを行い、選択と集中により一層の事業精査を行っていく。

**Q** 一般会計から特別会計への繰り出し金が、財政運営を厳しくしているが。

**A** 繰出金は、年々増加傾向にある。特に国民健康保険特別会計を始め、介護保険特別会計、後期高齢者特別会計などは、医療費抑制、健康づくりなど、各種施策を図り適正化に努めているところですが、増加傾向にある。

市政

# 市政60周年について



たけだ こういち 議員  
武田 浩一

**Q** 〇市政60周年について

**A** JR九州の海幸山幸他、全九州を日南線ですらせる企画を

**Q** JR九州に要望してはどうか。

**A** 関係各位と相談しながら検討していきたい。

**Q** 都井岬再開発計画を策定中であるが、懸案の駒止めの門の解決が最優先であると考えがどうか。

**A** この問題抜きに、都井岬の再興ができるとは考えていない。解決へ向けしっかり取り組んでいく。

**Q** 共稼ぎ家庭が増えるなど生活環境が大きく変化するなか、朝夕の延長保育事業の声が多い。補助をして子育てしやすい環境にすべきと考えが。

**A** 関係各位としっかりと相談調整しながら26年度予算に向けて検討していきたい。

**Q** 市民病院内で起った転落事故について、転落防止策は十

分だったのか。なぜ病院の保険で対応できないのか。医療費の補償はできないのか。

**A** 保険会社との交渉の中で病院側に明確な過失責任がないとの解答で保険で対応できない。市民病院に入院されれば、市長裁量もある。

**Q** ふるさと納税について他市町村では、寄付者に特産物を贈り大きな成果をあげているが、串間市も取り組む考えはないか。

**A** 他市町村の取り組みを検証し、しっかりと取り組んでいきたい。

**Q** 当市の木材利用について、伐期を過ぎようとしている杉の利用拡大を図るため県木材利用技術センターの技術を利用して杉材ガイドレール等に取り組めないか。

**A** 構造材やガイドレール等への利用については、研修、検証を重ね前向きに検討していきたい。

# 9月議会での反対討論

## ●議案第70号串間温泉条例改正案

昨年入湯税150円を全額免除して100円は指定管理者の収入増となる条例改正を行ったばかりです。水道料金も全額市が負担しているのに24年度決算で1500万円の赤字です。営業を再開して1年も経っていない年度途中に何故改正が必要でしょうか。運転資金確保のための回数券発行でなく、利用する市民のため入浴料を400円に引き下げる条例改正を実施すべきです。

## ●議案第63号一般会計補正予算案

串間温泉食堂の備品を136・5万円で購入する予算が提案されていますが、市が購入できるのは「備品台帳に記載されている」こととなっていますが台帳には記載されておらず9月14日に追加記載されたものです。しかもこの備品は1月に故障して協定書21条で「報告が義務付け」されているのに半年も報告されず7月に購入申請がされています。半年も使用されていないものを何故購入する必要があるのででしょうか。協定に違反する備品購入は止めるべきです。

## ●議案第64号国保会計補正予算、議案67号介護保険補正予算

国保税、介護保険料とも24年度値上げされました。どちらも給付費を見込んで保険税・料が決められます。ところが24年度国保は3億4617万円、介護保険は5798万円の黒字決算。補正予算で黒字分は市民に還元すべきです。

## ●「市木中学校の統廃合反対の陳情書」は直ちに採択すべきです。

### 請願・意見書

#### 請願・陳情

請願 市議会議員の紹介が必要です。議長が受理し、各常任委員会に付託され審査されます。議会最終日に各常任委員長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。

陳情 市議会議員の紹介は不要です。取り扱いについては、請願と同じです。

## ●陳情第8号串間市防災行政無線の屋外拡声子局設置等に関する陳情書

### 「陳情趣旨」

東日本大震災以降、防災への関心は衰えることはなく、むしろ「南海トラフ巨大地震」の想定で、津波への恐怖は高まっています。当地区は海岸に隣接しており、平均的な海拔は1m程度と低く、逃げ遅れるならば多くの死傷者が発生することは明らかです。

私どもの自治会においても自主防災組織を結成しましたが、その過程であきらかになった最大の優先課題は、「防災行政無線の屋外拡声子局」の設置による避難呼びかけであり、その次に避難路の整備が必要だとの意見が大勢を占めました。

自治会会員数の多い当地区住民の確実な避難のために、防災行政無線の拡声子局の速やかな設置と避難路の整備を署名を添えて陳情します。

「提出者」 寺里自治会 会長 金丸 悦夫

「結果」 採 択

### 「採択理由」

防災行政無線の屋外拡声子局設置等必要と認め陳情者の願意を了として全会一致で採択。

### 「意見」

市内全域の屋外子局設置に向け、事業手続きの準備を行っているのとこのとである。事業採択後は、早急な取り組みに努めるべきとの意見がありました。

## 可決した意見書

### 「地方税財源の充実確保」について

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。よって、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

記

#### 1 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について

- (1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。
- (2) 特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。
- (3) 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。
- (4) 依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。
- (5) 地方公務員給与の引下げを前提として、平成25年度の地方交付税が削減されたが、地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは、避けること。

#### 2 地方税源の充実確保等について

- (1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5・5」とすること。  
その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。
  - (2) 個人住民税は、その充実確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税額控除を導入しないこと。
  - (3) 固定資産税は、市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。  
特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。
  - (4) 自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。
  - (5) ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとって貴重な税源となっていることから、現行制度を堅持すること。
  - (6) 地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月24日

宮崎県串間市議会

#### 「提出先」

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、内閣官房長官、  
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

平成25年9月 第5回串間市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

		議決結果	川崎千穂	武田秀一	今江猛	瀬尾俊郎	実藤賢次	英聡子	井手明人	中村利春	山口直嗣	岩下幸良	福添忠義	門田国光	武田政英	木代幸一	児玉征威	武田浩一	田上俊光	
市長提出議案	報告第5号平成24年度串間市健全化判断比率の報告について	終了	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	報告第6号平成24年度串間市資金不足比率の報告について	終了	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	報告第7号和解及び損害賠償の額の決定についての専決報告について	終了	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	認定第1号平成24年度串間市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第2号平成24年度串間市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第3号平成24年度串間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第4号平成24年度串間市民病院事業決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第5号平成24年度串間市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第6号平成24年度串間市水道事業決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第7号平成24年度串間市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第8号平成24年度串間市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第9号平成24年度串間市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第10号平成24年度串間市物品特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第11号平成24年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第12号平成24年度串間市介護保険特別会計（サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	認定第13号平成24年度串間市木診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	議案第63号平成25年度串間市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
	議案第64号平成25年度串間市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
	議案第65号平成25年度串間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
	議案第66号平成25年度串間市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

		議決結果	川崎千穂	武田秀一	今江猛	瀬尾俊郎	実藤賢次	英聡子	井手明人	中村利春	山口直嗣	岩下幸良	福添忠義	門田国光	武田政英	木代幸一	児玉征威	武田浩一	田上俊光	
市長提出議案	議案第67号平成25年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/	
	議案第68号平成25年度串間市介護保険特別会計（サービス事業勘定）補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	
	議案第69号串間市介護保険条例及び串間市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	
	議案第70号串間市串間温泉いこいの里条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	/
	議案第71号平成24年度串間市水道事業の資本金の額の減少について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	
	議案第72号教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	
	諮問第2号人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	
	諮問第3号人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	
市会案	議員提出議案第17号「地方税財源の充実確保」について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/		
請願・陳情	陳情第7号市木中学校の統廃合に反対する陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/	
	陳情第8号串間市防災行政無線の屋外拡声子局設置等に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/		

○ 賛成    × 反対    - 欠席等    / 採決なし    ※議長（田上俊光）は採決に加わらないので「/」で表示

## 議員の 寄附行為に ついて



議員は公職選挙法により選挙区内において寄附行為が禁止されていますので、皆様のご理解をよろしくお願います。また市民が、議員に対し、寄附の勧誘や要求をすることはできません。この場合、相手に不安を抱かせるような方法で勧誘または要求をすると処罰されます。

### 禁止される寄附とは

#### 禁止される寄附の例

- ・病気、災害、近火見舞い    ・各種行事・大会や祝賀会等の寄附や差入れ
- ・盆踊り、祭礼の寄附や差入れ    ・落成式、開店祝いの寄附や花輪
- ・葬式の花輪、供花    ・入学祝、卒業祝等    ・お中元、お歳暮

ただし、議員本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀や、葬式や通夜における香典（花輪、供花等は除く）、会費が設定されている会で他の参加者と同等の会費を支払うこと等は、寄附行為にあたらなると考えております。

市民の皆様におかれましては、地域で行われる行事等で会費や実費が伴うものを議員に案内される場合には、会費を必ず明示して通知いただきますようお願いいたします。



## 懐かしい景色に出会う ふるさと探訪

武田 政英



赤池溪谷甌穴群  
(写真提供：武田嘉文氏 寺里在住)



第2号は山間地の景勝地、赤池溪谷を紹介します。

赤池溪谷は、福島川の支流である大矢取川の上流に位置する溪谷で、JR日向大東駅からおよそ8.5km、国道220号線から県道都城・中間線に入り、沿道の景色を楽しみながら自動車で15分も走れば

行くことができます。

溪谷は溶結凝灰岩といわれる霧島火山噴火物が堆積し、川の浸食作用で谷が形成されてきたということで、上流の山雨や湧水が集まり勢いよく流れる水で形成された甌穴群や流れ落ちる瀑布、また両岸に生い茂る照葉樹林が訪れた人の目を楽ませてくれます。

溪谷の夏は大変涼しく、シーズンの7月21日から8月31日までキャンプ場がオープンし市内外の行楽客がキャンプや川遊びを楽しんでいます。キャンプ場は8人程度が宿泊できるバンガローや貸 TENT が利用できますし、水泳はもちろんのこと川釣りでは“あぶらめ”など釣ることができます。もっと上流にはヤマメも生息しているということです。

中間の観光スポットは海岸部に

多くありますが、山間部の赤池溪谷も自然の美しい“お出かけスポット”です。

余談ですが、歌人若山牧水は明治40年夏、都井を訪問していますが赤池溪谷も立ち寄っていたら滝の側に歌碑が建立されていたかもしれせんね。

赤池溪谷の近くには、樹齢400年になろうかというクスノキ170本あまりが枝を広げる大楠の学術参考林もあり、溪谷一帯はこれから紅葉がきれいな季節を迎えます。ぜひ訪ねてみてはいかがでしょうか。鳥の鳴き声や水のせせらぎが心地よく、フィトンチッド(木々から出ている芳香物質)をたっぷり浴びてリフレッシュできますよ。

表紙を **ウ** オッチ



秋になると紅葉が見頃となる大東地区赤池溪谷

### 「議会だより」を読もう。

「中間市議会だより」は、3月、6月、9月、12月の定例会毎に発行します。ぜひ、皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を知る機会にしてください。



### 議会を見学しよう。

中間市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、市庁舎東側2階の傍聴席受付で住所、氏名等を記入のうえお入りください。



## 編集 後記

編集副委員長  
山口直嗣

**残** 暑さ厳しいおり市民の皆様には健康に留意され中間市発展の為、日頃より議会、行政に対しまして叱咤激励をいただき本当に有難とうございます。

我が国では東北大地震復興なかば、また日本の農業を根底よりゆるがすTPP問題と中間市では風力発電、バイオマス事業と最大級の事業が進行する中、東京オリンピック・パラリンピックが56年ぶりに開催されレスリング競技も残留が決まり、本当に夢を見ている様でございます。7年先の開催ではありますが今感動をおぼえております。

議会だよりは限られた紙面での編集となり発言の趣旨や報告をしっかりとお伝えできるよう協議を重ねての発行となります。中間市のホームページでの動画配信も是非ご覧ください。

皆様の生活に密接に関わる議会活動を知る機会であります。議会としてはアンケート調査など計画し多くのご意見をいただきたいと思っております。